

鹿島建設株式会社に対する 「サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、鹿島建設株式会社（代表取締役社長：天野 裕正、以下「鹿島建設」）との間で、「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約を締結し、本日実行しました。

本ローンは、借り手のESG戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利などの借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

鹿島建設グループは、「全社一体となって、科学的合理主義と人道主義に基づく創造的な進捗と発展を図り、社業の発展を通じて社会に貢献する。」という経営理念のもと、「脱炭素・資源循環・自然共生」を優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の一つとして位置付け、気候変動のリスクと機会に対応するための各種施策を推進しています。

また、鹿島建設は「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則、ならびに環境省によるグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）への準拠性と設定した目標の合理性について第三者意見（※）を取得しています。

本ローンのサステナビリティパフォーマンスターゲット（以下「SPT」）は、2023年7月にSBTi（Science Based Targets Initiative）から認定を受けた「鹿島グループのCO2排出量（スコープ1+2）を2030年度▲42%削減（2021年度基準）」の目標値を期間で均等按分した目標値を採用しています。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

（※）株式会社日本格付研究所（JCR）による評価レポートをご参照下さい。（<https://www.jcr.co.jp/>）

以 上